

# 地域で自立した生活を営むことができるよう、入所施設から地域生活への移行を積極的に進めます

健康福祉部障害福祉課  
地域生活支援グループ  
内線 3241・3498  
(ダイヤル)052-954-6697

予算額 623,940千円

## 1 障害者施設設置費補助金 603,410千円

障害のある人が身近な地域で暮らすことができるようグループホームや障害児者施設の整備費に対して助成します。

- ・グループホーム、障害児者施設 14施設

[障害者福祉事業所で生産された商品(例)]

## 2 障害者地域移行推進事業費 20,530千円

### ○ 共同生活援助事業所の世話人の確保

- ・グループホームの世話人確保のため、世話人の仕事紹介や仕事体験を実施します。

### ○ 地域生活の体験

- ・施設入所者が地域生活を具体的にイメージできるよう、身近な地域のグループホーム等を活用した宿泊体験・生活体験を実施します。

### ○ 障害者の新たな仕事の創出

- ・障害者の工賃等の向上のため、企業と就労継続支援事業所等をマッチングし、新たな受注や仕事を生み出す取組を実施します。
- ・企業と芸術的な才能がある障害者をマッチングし、障害者雇用へつなげる取組を実施します。



きんちゃく袋



ハンカチ

# 高次脳機能障害のある方の支援拠点を増設します

健康福祉部障害福祉課  
相談支援グループ  
内線 3235・3497  
(ダイヤル) 052-954-6292

予算額 18,846千円

高次脳機能障害のある方に対する支援体制の拡充を図るため、支援拠点機関を尾張地域に加え三河地域に新設します。

## 1 支援拠点機関の役割

障害の有無や状態像がわかりづらい高次脳機能障害のある方の相談支援や普及啓発を行うことにより、支援体制の確立を図る。



## 2 支援拠点機関の場所

- ・尾張地域支援拠点機関  
(社福) 名古屋市総合リハビリテーション事業団  
支援コーディネーター 2名
- ・三河地域支援拠点機関 (新規)  
(特非) 高次脳機能障害者支援「笑い太鼓」(予定)  
支援コーディネーター 1名

※高次脳機能障害とは

脳外傷や脳血管障害などにより脳に損傷を受けることで生じる認知障害や行動障害などの症状のこと。外見では障害があることが分かりにくく、本人も自覚することが難しい障害。

# 障害のある方の社会参加と障害への理解促進を図ります

健康福祉部障害福祉課  
企画・調整、地域生活支援グループ  
内線 3230・3241  
(ダイヤル)052-954-6294

予算額 44,838千円

## 1 障害者コミュニケーション手段利用促進費

32,323千円

### ◆意思疎通支援者の養成・派遣

障害者が社会の構成員として地域の中で安心して生活を送ることができるよう、意思疎通支援者の養成や派遣などを行います。

- ・手話通訳者や要約筆記者等の養成・派遣
- ・頸肩腕障害予防のための健康診断や健康管理講座の実施
- ・失語症者向け意思疎通支援者の養成研修等

## 2 ヘルプマーク普及促進事業費

1,156千円

### ◆ヘルプマークの普及促進

義足や人工関節を使用している方等、援助や配慮を必要とすることが外見からは分かりにくい方々が、配慮を必要としていることを周囲の方に知らせるための手段となる「ヘルプマーク」の普及を促進します。

- ・普及啓発リーフレット及びポスター等の作成、配布
- ・市町村と連携したヘルプマークの作成、配布



ヘルプマーク

## 3 障害者芸術文化活動推進事業費

13,123千円

### ◆あいちアール・ブリュットの推進

「あいちアール・ブリュット障害者アーツ展」を通して、障害のある方の社会参加と障害への理解促進を図ります。

- ・作品展、舞台・ステージ発表、トークイベント等を開催
- ・芸術系大学の教員等が障害者支援施設等を訪問し、造形活動の指導を行う出前講座の実施
- ・あいちアール・ブリュット展の三河地域でのサテライト開催の実施（新規）



ロゴマーク

### ◆障害者の芸術活動を支援する人材の育成

障害のある方の創作・表現活動を支援する人を育成します。

- ・施設職員等が企画、運営する作品展の開催
- ・著作権や支援方法に関する研修会の開催 等

### ART BRUT

アール・ブリュットとは

加工されていない生(き)の芸術、  
伝統や流行・教育などに左右されず  
自身の内側から湧きあがる衝動のま  
まに表現した芸術を示す。障害のある  
方・子ども・素人芸術家らの作  
品を指すため1947年ごろ  
から用いられている。



新美あかね  
《トウレット怪物》

# 自殺・ひきこもり対策を推進します

予算額 139,316千円

健康福祉部障害福祉課  
こころの健康推進室  
こころの健康推進グループ  
内線 3247・3248  
(ダイヤル)052-954-6621

社会問題化している自殺やひきこもりなど、「心の健康」の問題に適切に対応するため、市町村を始め、関係機関や民間団体と連携し、「第3期あいち自殺対策総合計画」に基づく自殺対策やひきこもり対策を推進します。

## ○ 自殺・ひきこもりなど心の健康問題への積極的な取組

- ・「あいちこころほっとライン365」による電話相談やEメール相談
- ・専門医等によるメンタルヘルス相談
- ・自殺予防週間における自殺予防街頭啓発キャンペーンの実施
- ・自殺予防のゲートキーパーの養成
- ・「ひきこもり相談専用電話」による相談

## ○ 地域における更なる自殺対策の強化の推進

- ・市町村が行う自殺対策事業（人材養成、普及啓発、相談等）に対する補助



<厚生労働省 自殺対策の標語及びロゴマーク>



# 依存症対策を推進します

予算額 28,644千円

健康福祉部障害福祉課  
こころの健康推進室  
精神保健グループ  
内線 3249・3495  
(ダイヤル)052-954-6622

アルコールやギャンブル等の依存症については、適切な治療や支援により回復が十分可能な疾患であるため、依存症に関する正しい知識の普及を図るとともに、患者やその家族等に対し、予防、相談、治療、回復支援に至る支援体制の整備を図ります。

## 1 相談体制等の整備

- 精神保健福祉センターにおける専用電話による相談及び回復支援プログラムの実施
- 依存症専門医療機関の選定等による医療提供体制の整備

## 2 正しい知識の普及啓発

- 依存症に関する正しい知識の普及を図るため、リーフレットを配布

## 3 適切な相談支援を行うための人材育成

- 県職員を依存症対策全国拠点機関が実施する研修会へ派遣
- 市町村の相談担当職員等を対象に、依存症に関する知識の習得や相談対応能力の向上を目的とした研修会を実施

## 4 依存症関係団体の支援

- 依存症問題に取り組む民間団体の相談、普及啓発等の活動を支援



# 「愛知・つながりプラン2023」に基づき、 特別支援教育を充実します

とりまとめ  
教育委員会特別支援教育課  
指導グループ、内線 3932・3933  
(ダイヤル) 052-954-6798

予算額 1, 246, 924千円

平成30年12月に策定した「第2期愛知県特別支援教育推進計画（愛知・つながりプラン2023）」に基づき、特別支援学校の整備を進めるとともに、児童生徒に対する支援体制を強化します。

## 1 西三河南部地区新設特別支援学校整備費

875, 036千円

安城特別支援学校（知的障害）の過大化解消と岡崎特別支援学校（肢体不自由）への長時間通学の緩和を図るため、本県初となる知的障害及び肢体不自由の両方に対応する特別支援学校を新設します。平成34年度の開校に向けて、実施設計及び用地造成を行います。

- 場所：西尾市須脇町地内
- 開校予定：平成34年4月

## 2 岡崎特別支援学校移転整備調査費（新規）

13, 023千円

学習環境の改善や立地上の課題を解消するため、移転に向けた調査を行います。

- 現在地：岡崎市本宿町
- 移転先：岡崎市美合町地内（県立農業大学校敷地内）

## 3 みあい特別支援学校校舎増築費

303, 280千円

過大化による教室不足を解消するために、平成32年度の供用開始に向けて、校舎2棟（普通教室12室分）を増築します。

## 4 スクールバスの増車 40, 924千円

知的障害特別支援学校の開校及び乗車待機者解消のため、新たに3台のバスを増車します。

## 5 心豊かな児童生徒育成推進事業費

6, 433千円

児童生徒の心のサポート体制を充実させるため、特別支援学校にスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを配置します。

- ・スクールカウンセラーの配置（新規） 1人
- ・スクールソーシャルワーカーの配置（新規） 1人

## 6 就労支援推進事業費 8, 228千円

高等部生徒の就職率の向上を図るため、実習先や就職先を開拓し、就労につなげる就労アドバイザーを増員します。

- ・就労アドバイザーの配置 2人 → 3人

## <参考> 看護師による医療的ケア実施体制の充実

医療的ケアが必要となる児童生徒に適切なケアを行うことができるよう看護師を増員します。

- ・常勤看護師の配置 7人継続
- ・非常勤看護師の配置 55人 → 65人

# 児童・生徒の心のサポート体制を充実します

予算額 720,460千円

とりまとめ  
教育委員会義務教育課  
生徒指導・キャリア教育グループ  
内線 3914・3919  
(ダイヤル)052-954-6790

小学校、中学校、高等学校に加え特別支援学校にスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを新たに配置し、教育相談体制の充実といじめ防止対策に取り組みます。

## ○ スクールカウンセラーの設置

- ・小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校への配置

小学校	164人	中学校	244人
小中連携	61人	高等学校	54人
特別支援学校(新規)	1人		

- ・スーパーバイザーの配置

緊急支援への対応及び学校でのカウンセリング経験の少ないスクールカウンセラーへの適切な指導・助言を行うスーパーバイザーの配置を継続します。

スーパーバイザー	5人
----------	----

## ○ スクールソーシャルワーカーの設置

- ・小学校・中学校等へ設置する市町村への補助

福祉の知識・技術を有するスクールソーシャルワーカーを設置する市町村へ、設置費の一部を補助します。

補助率：1/3以内

補助額：1市町村当たり上限800千円

(新規3市町、継続17市町)

- ・高等学校及び特別支援学校への配置

福祉の知識・技術を有するスクールソーシャルワーカーを配置します。

高等学校	7人	特別支援学校(新規)	1人
------	----	------------	----

## ○ いじめ防止対策の推進

いじめ防止対策推進法に基づき「愛知県いじめ問題対策委員会」等を設置します。

## ○ 24時間いじめ電話相談の実施

悩みや不安を抱える児童生徒や保護者等がいつでも相談ができるように、24時間体制の電話相談を運営します。

## ○ ネットパトロールの実施

県立学校を対象に、インターネット上のトラブルを未然に防止するため、ネットパトロールを実施します。

# 外国人生徒等の学習・就労支援を充実します

予算額 3,343,881千円

とりまとめ  
教育委員会高等学校教育課  
教科・定通指導グループ、内線3903・3904  
(ダイヤル)052-954-6787

本県は、日本語指導が必要な外国人の児童生徒数が全国で最も多く、かつ今後も増加が予想されることから、小・中・高等学校、特別支援学校に在籍する外国人幼児児童生徒の学習・就労支援を充実します。

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>1 外国人生徒等の教育支援</b> 42,966千円</p> <p><b>(1) 外国人生徒等教育支援員の配置拡充</b> 41,448千円<br/>日本語によるコミュニケーション能力が十分に身に付いていない外国人生徒等の学校生活をサポートする教育支援員の配置を拡充します。<br/>高校（拡充）、特別支援学校（新規）</p> <p><b>(2) 小型通訳機の導入（新規）</b> 1,518千円<br/>外国人生徒等が多く在籍する県立学校に多言語対応の小型通訳機を導入し、活用効果の検証を図ります。<br/>定時制高校 23校、特別支援学校 2校</p> <p><b>2 就労アドバイザーの配置（新規）</b> 8,330千円<br/>定時制高校の外国人生徒等の正規雇用の就労先を開拓（企業訪問等）する「就労アドバイザー」を配置します。<br/>配置人数 3人</p> | <p><b>3 語学相談員の派遣</b> 35,878千円<br/>外国人生徒等の在籍する小中学校へ語学相談員を派遣し、日本語初期指導の補助や母語による生活適応相談などの訪問支援を行います。<br/>配置人数 ポルトガル語 4人、スペイン語 4人、<br/>フィリピン語 3人</p> <p><b>4 日本語教育適応学級担当教員の配置拡大</b> 3,256,707千円<br/>小中学校に在籍する日本語指導が必要な外国人生徒等の学習支援を行うため、在籍人数に応じて日本語教育適応学級担当教員を60人増員します。<br/>配置人数 493人</p> |
|---|--|

